

広報

No.183

TABAYAMA 丹波山



大きな自然のポケットです。
山の山の手。丹波山村。

令和6年5月

編集と発行 丹波山村教育委員会 ■山梨県北都留郡丹波山村2450 TEL ■0428-88-0211 FAX ■0428-88-0207
E-mail ■info@vill.tabayama.yamanashi.jp URL ■https://www.vill.tabayama.yamanashi.jp/



「グリスロ」実証実験を行いました

時速20km未満で公道を走れる小型電気自動車「グリーンスローモビリティ」の実証実験を3月11日から21日まで行いました。各地区で試乗会を開き、本格導入に向けての意見や要望をお聞きしました（アンケート結果は5面）。

主なもくじ

村議会臨時会・3月定例会	2	ミズナラ樽でウイスキー熟成	7
令和6年度当初予算	3	新任紹介	10
令和5年度企業版ふるさと納税・ふるさと納税実績	4	丹波山村行政組織図	11
グリスロ実証実験実施報告	5	ご長寿おめでとうございます	12
保育所卒所式・入所式、小中学校卒業式・入学式	6	丹波山村消防団任命式	12

村 議 会

令和6年
第1回 臨時会

指定管理者の指定他 提出議案2件を可決

■報告

●丹波山村一般会計補正予算（第7回）の専決処分承認
商品券配付事業及び給付金事業の補正です。

■指定管理者の指定について

●丹波山村温泉施設・丹波山村農林産物直売所・道の駅たばやま
（株）QOLたばやま（事業者継続）

令和6年3月定例会

令和6年度当初予算、 条例等を含め提出議 案30件を可決

■報告

●丹波山村手数料条例の一部を改正する条例の専決処分の承認

第8回一般会計補正予算の内訳

主な歳入 (単位：千円)

区分	補正額	主な内容
地方消費税交付金	2,375	額確定による増
使用料及び手数料	220	住宅使用料の増
国庫支出金	52,649	モバイル建築住宅建設費に係る補助金 49,500
県支出金	△ 1,515	補助金等の精査による減
財産収入	120	財産貸付収入の増
寄付金	800	企業版ふるさと納税の増
繰入金	△ 141,156	基金等繰入金の減
諸収入	1,998	水源林立木処分方法等に関する交付金の増 1,349
村債	49,500	村の借入金
計	△ 35,009	

主な歳出 (単位：千円)

区分	補正額	主な内容
議会費	△ 1,842	精査(研修中止等)による減
総務費	50,319	ふるさと納税推進費 △ 15,000 能登半島地震被災地支援金 6,000 地域おこし協力隊費 △ 7,360 モバイル建築住宅建設事業 99,000
民生費	△ 24,863	特別会計(国保等)繰出金 △ 10,009 障害者自立支援給付事業費 △ 4,000 保育所管理費 △ 5,040
衛生費	△ 24,142	簡易水道繰出金 △ 18,849
農林水産業費	△ 10,200	交流促進センター運営費 △ 1,360 木材利用推進事業費 △ 3,380
商工費	△ 9,066	水源の里繰出金 △ 6,262
土木費	△ 14,129	下水道繰出金 △ 16,878 クラウドファンディング補助金(空き家対策) 5,477
消防費	△ 600	常備消防運営事業費 2,371 消防施設費 △ 3,400
教育費	△ 7,479	中学校管理費 △ 1,951 社会教育事業費 △ 1,475
公債費	3,851	村の借入金の返済(元金)
諸支出金	3,142	基金積立金
計	△ 35,009	

■条例

●丹波山村課設置条例の一部を改正する条例
●丹波山村定住促進住宅等維持管理基金条例の制定
●丹波山村消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例
●団員報酬の増額です。

●丹波山村パートタイム会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
●パートタイム会計年度職員へ勤勉手当を支給するための改正です。
●丹波山村フルタイム会計年度任用職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
●フルタイム会計年度職員へ勤勉手当を支給するための改正です。
●丹波山村公の施設に係る指定管理者の指定手続き等に関する条例の制定

●山梨県市町村総合事務組合規約の一部を改正する規約

■指定管理者の指定について

●丹波山村交流促進センター
一般社団法人たばやま観光推進機構(事業者新規)
●七ツ石小屋
合同会社此乃花屋(事業者継続)

■補正予算

●令和5年度丹波山村一般会計補正予算(第8回)(別表)
●令和5年度丹波山村国民健康保険特別会計補正予算(事業勘定第4回)(直診勘定第3回)
●令和5年度丹波山村簡易水道事業特別会計補正予算(第3回)
●令和5年度丹波山村水源の里保健休養施設事業特別会計補正予算(第1回)
●令和5年度丹波山村下水道事業特

別会計補正予算(第3回)

●令和5年度丹波山村有線テレビ放送施設事業特別会計補正予算(第2回)
●令和5年度丹波山村介護保険特別会計補正予算(第4回)
●令和5年度丹波山村後期高齢者医療特別会計補正予算(第1回)

■令和6年度当初予算

●令和6年度丹波山村一般会計予算
●令和6年度丹波山村国民健康保険特別会計予算他7特別会計
●令和6年度丹波山村簡易水道事業会計予算
●令和6年度丹波山村下水道事業会計予算(別表)

■議員選挙

●丹波山村選挙管理委員会委員及び補充員の選挙

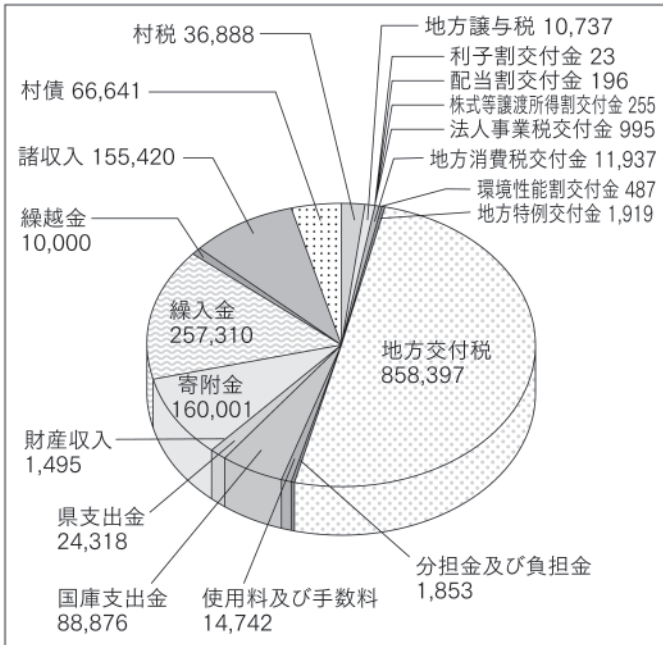
令和6年度（2024年度）

一般会計 当初予算

17億249万円

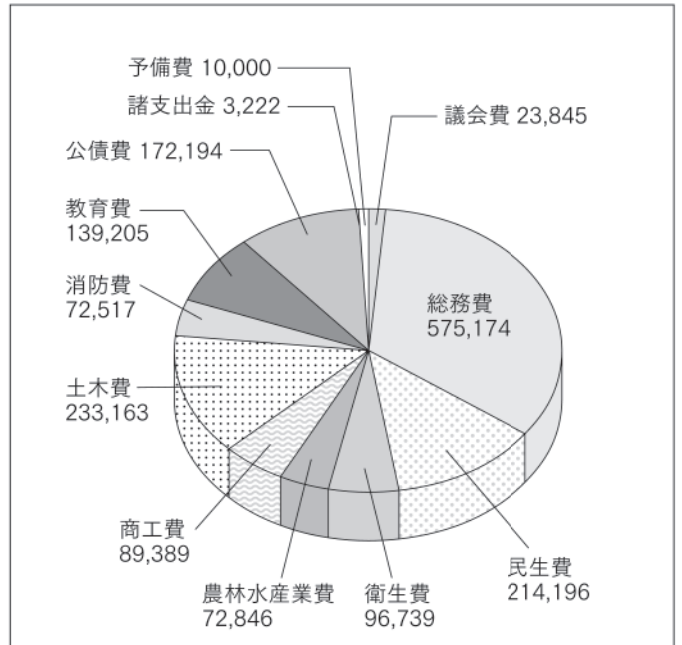
■一般会計歳入の内訳

(単位：千円)



■一般会計歳出の内訳

(単位：千円)



■令和6年度 各会計の当初予算

(単位：千円、%)

会計名		予算総額	前年度	増減	増減率
一般会計		1,702,490	1,611,773	90,717	5.6
特別会計	国民健康保険会計				
	事業勘定	128,038	126,677	1,361	1.1
	直診勘定	76,629	82,023	△ 5,394	△ 6.6
	教育奨励資金会計	1,805	1,805	0	0.0
	水源の里保健休養施設事業会計	21,890	23,216	△ 1,326	△ 5.7
	有線テレビ放送施設事業会計	5,535	29,746	△ 24,211	△ 81.4
	介護保険会計	106,804	116,806	△ 10,002	△ 8.6
	温泉事業会計	49,887	48,237	1,650	3.4
介護サービス事業会計	223	412	△ 189	△ 45.9	
後期高齢者医療会計	14,820	12,277	2,543	20.7	
公営企業会計	簡易水道事業会計	31,697	64,450	△ 32,753	△ 50.8
	下水道事業会計	127,071	161,677	△ 34,606	△ 21.4

副業型地域活性化起業人に
榎原さんを委嘱

総務省が推進する「地域活性化起業人制度」に令和6年度から新設された「副業型地域活性化起業人」に、都内在住で株式会社NTTドコモ勤務の榎原拓磨さんを4月25日付で委嘱しました。今後、スマホ教室の開催などを通じたデジタル格差の解消や、村内のコミュニティ活動の活性化を推進していきます。木下村長は、「世の中はIT、デジタルの時代。取り残される人がいないよう、この制度を活用して村をいい方向に進めていきたい」と話しました。



4月より村のデジタル化の推進や、コミュニティ形成/活性化のために参りました榎原拓磨と申します。本業はNTTドコモで法人事業の営業戦略業務を担当しております。今までに培ったICTの知見やスキルと、過去に東京大学高齢社会総合研究機構(IoG)共同研究員として培った超高齢社会のノウハウを糧に、村民の誰もが「人生の最期まで自分らしい人生を生き切ること」ができるよう、村にイノベーションを起こしたいと思っております。

これからどうぞよろしくお願いたします。

令和5年度企業版ふるさと納税 初めて1,000万円に到達 寄附企業へ感謝状を贈呈

令和5年度中に丹波山村に寄せられた「地方応援税制」(企業版ふるさと納税)は、7社から総額1,000万円に上りました。このうち、50万円以上の寄附をいただいた4社に対し、5月8日に木下喜人村長から感謝状を贈呈しました。



令和6年1~3月に寄附をいただいた企業

株式会社エヌディエス

山梨県甲府市



- 村の資源を活かした新たな雇用を創出する事業
- 観光の振興による交流人口の拡大を図る事業
- 首都圏からの移住・定住の促進事業

株式会社飯塚工業 山梨県笛吹市

- 分野を指定しない



株式会社アシロ

東京都新宿区

アシロ



ベンナビ



- 村の資源を活かした新たな雇用を創出する事業

ほか1社 (社名掲載辞退)

- 分野を指定しない

企業版ふるさと納税とは

自治体が定め、国から認定を受けた「地域再生計画」に基づいて行う事業に対して企業が寄附を行った場合に、法人住民税等の法人関係税から最大で寄附額の約9割に相当する額が軽減される制度です。

令和5年度 ふるさと納税 過去最高 1億6千万円超に



▲ふるさと納税の寄附金で購入した書籍で、役場2階の図書コーナーは充実の蔵書に

令和5年度に丹波山村に寄せられたふるさと納税の寄附総額は、1億6,030万2,900円で、過去最高を記録しました。ふるさと納税型のクラウドファンディングにも、3つのプロジェクトを合わせて1,192万1,800円が寄せられました。寄附の使い道の内訳は左記のとおりです。

①村の資源を活かした新たな雇用創出	31,833,100円
②観光の振興による交流人口の拡大	16,752,500円
③首都圏からの移住・定住促進	5,710,000円
④安心して子育てできる村作り	64,335,000円
⑤生涯健康で安心して暮らせる村作り	29,710,500円
⑥クラウドファンディング「本屋も図書館もない村にみんなが集う図書コーナーをつくりたい」	1,021,000円
⑦クラウドファンディング「ふるさと納税で丹波山村に家が建つ!? ~「家がない」を理由に移住を断るのはもうやめにしたい~」	5,477,000円
⑧クラウドファンディング「【令和6年能登半島地震】モバイル建築で被災地に医療・福祉の支援施設を!」	5,423,800円
⑨その他	40,000円

能登半島地震被災地支援 日本モバイル建築協会へ600万円を寄附



令和6年能登半島地震の被災地を支援するため、ふるさと納税を活用したクラウドファンディングで1月9日から3月31日まで協力を呼び掛けたところ、944人の方から計542万3,800円の寄附をいただきました。この支援額に、村からの寄附金を合わせた600万円を、石川県内で仮設住宅等の建設にあたっている一般社団法人日本モバイル建築協会へ寄附しました。

クラウドファンディングは、丹波山村が同協会と昨年12月に締結した「地方創生並びに地域防災力の向上に関する包括連携協定」に基づいて実施。寄附金は、被災地で医療や福祉のケアを必要としている方々のための支援拠点の整備に活用されます。

グリーンスローモビリティ実証実験実施報告

3月11～21日に、グリーンスローモビリティ(グリスロ)の実証実験を行いました。のべ約100人の方に試乗いただき、65人から乗車の感想や本格導入に向けての意見等を伺いました。ご協力ありがとうございました。



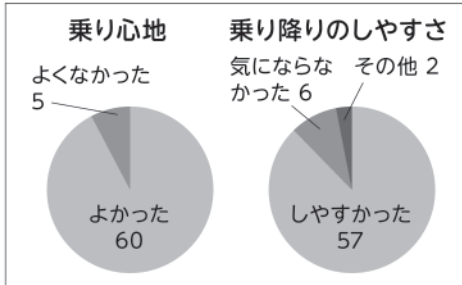
▲試乗中車内から手を振る参加者。「楽しかった」の感想が多く聞かれた

走行ルートや時間帯、利用料の有無の設定は、今回のアンケート以外にも丁寧に聞き取りをし、導入に向けての体制づくりを進めていきます。

■「乗り心地よい」「乗り降りしやすい」が9割

グリスロの乗り心地についてたずねたところ、65人中60人が「よかった」と回答。また、「乗り降りしやすい」と「乗り降りは気にならない」を合わせると、63人が乗り降りに支障はなかったと答えました。

そのほか、「高齢の方にはステップがあるといい」「車いすからの乗降のため、介助が必要」などの意見がありました。



■「ちょうど良い速さ」が8割

グリスロの走行速度については、「ちょうどよかった」と答えた人が52人で、全体の8割を占めました。「速いと感じた」は8人、反対に「遅いと感じた」は3人でした。

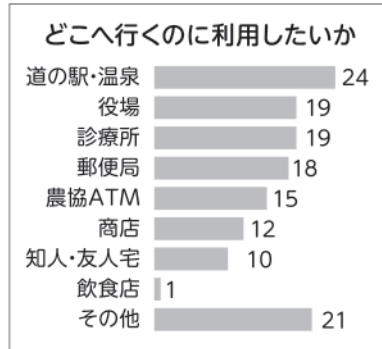
■「利用したい」の声多数

グリスロを丹波山村に導入した場合、利用の意向があるかをたずねたところ、「ぜひ利用したい」「たまには利用したい」が合わせて43人と、アンケート回答者の2/3が利用意向ありとの結果になりました。「現在は自分で運転ができるため必要はないが、将来的に利用したい」や、「自分は必要ないが、村

に導入には賛成」「(運転ができない)家族を乗せたい」などの意見がありました。

■出掛けたい先は「道の駅・温泉」が最多

グリスロを使った移動の目的地を複数回答でたずねたところ、「道の駅・温泉」が最も多く24人、「役場」「診療所」が19人で続き、「郵便局やATMを利用するため」「商店での買い物」「知人や友人宅を訪れるため」という意見も多くありました。「鴨沢地区に行くため」と答えた人や、さらには、「小菅村」「奥多摩町」「塩山」と、村外の目的地を挙げられた人も複数いました。



▲地域おこし協力隊や役場職員が補助者となって感想・意見の聞き取りを実施



▲静かに走るため声が聞き取りやすく、乗り合わせた人同士の会話も弾んでいた

アンケート回答者数：65人(うち70代以上32人)

集計方法：スマートフォンを使い、アンケートフォームから回答。回答率を上げるため、地域おこし協力隊や役場職員が補助員となり、回答を入力して集計。

グリーンスローモビリティとは 時速20km未満で、公道を走ることができる電気自動車。さまざまな形が国内外のメーカーから出されているが、今回丹波山村で実験したのは、ヤマハ発動機社製の7人乗りの車両。

第4期「東急ホテルズ・グリーンコインの森」協定を締結

3月27日、東急ホテルズ&リゾート株式会社、公益財団法人オイスカと、第4期「東急ホテルズ・グリーンコインの森」についての協定を締結する調印式を行いました。式では、

東急ホテルズ&リゾート株式会社 代表取締役社長 村井淳氏、公益財団法人オイスカ 理事長・代表理事 中野悦子氏と木下村長の3者で、相互の連携強化、目指していく今後の森づくり方針などについて意見を交わしました。

本事業は平成20年から3期16年にわたって森林保護・育成関係の活動を中心に行ってきました。4期目となる今期は、同様の活動も継続しながら、間伐した木材の搬出やCO2認証の取得といった、新たな木材利用・里山再生にも取り組むことで、次世代に繋がる森づくり・森林の循環を実現できる活動を目指します。

佐川急便株式会社と災害協定締結

佐川急便株式会社と、地域防災力の向上に関する災害協定を4月19日に締結しました。

村では災害時の物資の保管場所の確保、荷捌きから配送までの体制構築を課題としていました。本協定は、それらの問題を解消するものとなります。



保育所入所・進級式



4月3日、丹波山村保育所入所・進級式を行いました。令和5年5月から令和6年4月までに入所したお友だちへ、在所児のお兄さん、お姉さんが歌のプレゼントをしました。元気いっぱい遊びましょうね。

丹波小学校入学式



4月5日、丹波小学校入学式が挙行されました。今年、嶋崎廉さんが丹波小学校へ入学しました。名前を呼ばれて元気よく返事をしてくださいました。これからの学校生活を思いきり楽しんでください。

丹波中学校入学式



4月5日、丹波中学校入学式が行われ、佐々木颯空さん・守屋絆起さんの2人が丹波中学校へ入学しました。

みんなそれぞれの目標を立派に発表してくれました。勉学に部活に中学校生活を満喫してください。

保育所卒所式



3月26日、丹波山村保育所卒所式を行いました。

保育所を巣立つお友だちを、保護者、在所児、保育所職員が見守り、村長から保育証書をいただきました。小学校でも、元気よく過ごしてくださいね。



丹波小学校卒業式



3月15日、第148回丹波小学校卒業式が行われました。今年、守屋絆起さんが丹波小学校を立派に巣立っていきました。中学校でも大きく躍進されることを願っています。

丹波中学校卒業式



3月11日、第77回丹波中学校卒業式が行われました。今年、田村亜理沙さんが丹波中学校を立派に巣立っていきました。いつも元気な亜理沙さん、ご卒業おめでとうございます。

丹波山村産ミズナラ樽でウイスキー熟成 サントネージュワインと共同開発



丹波山村産のミズナラでできた木樽の活用策の第二弾として、山梨市のサントネージュワイン株式会社と共同で、ウイスキーの開発に取り組んでいます。海外から調達した「モルトウイスキー」と「ブレンドドウイスキー」の原酒を、焼き付け具合の異なる樽に詰め、令和5年3月末から熟成させています。

2月19日には「樽空け」を行い、木下喜人村長やサントネージュワインの田中良治社長らが熟成状態を確認しました。ミズナラ樽のウイスキーは今後さらに熟成を進め、7月頃の製品化を目指しています。



▲ ウイスキーに先行して共同開発した甲州ワイン

メンタルヘルスセミナーを開催

地域活性化起業人として丹波山村の人材育成アドバイザーを務める株式会社コラの宮本義信氏を講師に招き、4月14日に役場2階大会議室でメンタルヘルスセミナー「親子で考えるメンタルヘルス」を開催しました。

日本人が不安を感じやすい民族である所以や、現代の子どもや若者に多く見られる「HSP（ハイリー・センシティブ・パーソン）」の特性、子どもの発達に応じた親の関わり方、家庭内での良好なコミュニケーションの取り方などについて学びました。



NTTe-City Labo訪問

4月17日、NTT中央研修センタ（調布市）内にあるNTTe-City Laboを木下村長はじめ職員が訪問しました。自動運転バス、魚類の陸上養殖、バイオガスを活用した発電など、ICTを利活用したさまざまな先進的取り組みを視察しました。

今後、こうした取り組みを丹波山村の活性化の参考にし、取り組んでいきます。



被災地派遣職員が支援活動報告会

中学校で出前授業も



能登半島地震で被災した石川県珠洲市へ、丹波山村から応援職員として派遣された、堀内麗暖主事、瀧本清明主任による報告会を丹波山村役場で開きました。現地で撮影した写真や動画を映しながら、倒壊した家屋や道路の状況、応援活動の内容などを発表しました。また、4月19日には丹波中学校で全校生徒を前にした出前授業も行いました。



健康
コラム熱中症に
気をつけよう!

今夏も厳しい暑さが予想されています。

熱中症とは、暑さによって引き起こされる、さまざまな体の不調のことです。暑さに体が慣れていないこの時期は特に注意が必要です。

日頃から健康管理に注意し、次のような対策をし、熱中症を予防しましょう。

●屋外

帽子や日傘を使い直射日光を避けましょう。

のどが渇いていなくても、こまめに水分を補給しましょう。大量の汗をかいたら塩分も取りましょう。

●屋内

カーテンやすだれなどで直射日光を遮断しましょう。

風通しを良くし、エアコンや扇風機を適切に使って、室内が高温にならないようにしましょう。目安は室温28℃前後にしましょう。

●子どもや高齢の方は特に注意しましょう

小さなお子さんは、地面に近く高温にさらされます。乳幼児を連れての炎天下の外出は避けましょう。

高齢の方は、就寝中の脱水予防のため、枕元に水を用意し、夜間も水分を補給しましょう。

クラフトビール&
焼肉フェスを開催

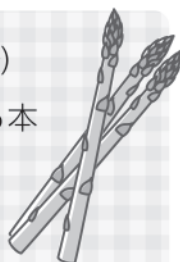
丹波山村クラフトビール&焼肉フェスを5月5日に奥秋キャンプ場で開きました。村のふるさと大使を務める、株式会社カルネヴァーレ代表取締役社長の鳴坂竜一氏の企画で初めて開催し、約300人が訪れました。

参加者は五月晴れの中、黒毛和牛や村産のジビエなどを七輪で焼いて食べるバーベキューを、多摩川源流のブルワリー3社のクラフトビールと一緒に楽しみました。

アスパラガスの
半熟卵添え

材 料 (2人分)

- アスパラガス：6本
- 卵：2個
- 塩：少々
- 胡椒：少々
- 粉チーズ：適量
- オリーブオイル：適量
- 油：適量



食生活改善推進員会です。

春から夏へと変わっていく6月は、ミネラルやビタミンが豊富な夏野菜のトマト、アスパラガス、スナップえんどう、なす、きゅうり等が出てきます。今回は、アスパラを使った料理をご紹介します。

作り方

- ① アスパラは、根本から1/3程の固い部分の皮をピーラーで剥きます。
- ② 1本のまま塩の入った熱湯に6本を入れて茹でます。下の切り口の部分を触って固さを確認、ザルに上げて粗熱をとります。そして、アスパラを半分に切り、1人3本分のアスパラをお皿にのせます。
- ③ フライパンに適量の油を敷き、卵を割って目玉焼きを作ります。この時、蓋をせず、半熟の目玉焼きを作ります。
- ④ アスパラの上に半熟の目玉焼きをのせて塩と胡椒を少々と粉チーズを適量振ります。オリーブオイルをその上にかけて完成です。
- ⑤ 半熟の卵をアスパラに絡めて食べます。

※市販の温泉卵を利用するととっても簡単に作ることができます。

お知らせ Information

禁煙週間

5月31日（世界禁煙デー）
 6月6日は、禁煙週間です。
 令和6年4月1日からはじ
 まった「21世紀における第3
 次国民健康づくり（健康日本
 21）」では、喫煙による健康
 影響のうち、COPD（慢性
 閉塞性肺疾患）対策として、
 新たに「COPDの死亡率の
 減少」を目標にし、引き続き
 認知度向上を行うこと等が重
 要であるとされています。

今年の禁煙週間のテーマ
 は、「たばこの健康影響を知
 ろう！たばことCOPDの
 関係性」です。

禁煙週間は、喫煙者本人と
 周りの大切な人のために、健
 康について考える機会にしま
 しょう。

毎月第3日曜日は「家庭の日」です。

家庭は、子どもにとって最
 も大切なよりどころであり、
 子どもが基本的な生活習慣や
 規範意識の基礎を身につけ、
 人格を形成する上で大きな役
 割を担う大切な場です。

家族が一緒に過ごし、絆を
 深め、明るく楽しい家庭づく
 りを進めるきっかけとするた

め山梨県では毎月第3日曜
 日を、「家庭の日」と定めてい
 ます。
 家族のふれあいを大切に毎
 月1回の「家庭の日」を意識
 して過ごしてみたいかがで
 しょうか。

薬物乱用は「ダメ。ゼッタイ。」

薬物乱用とは、「たった一
 度でも」薬物を社会のルール
 や法律から外れた目的や方法
 で使ったり、医薬品を病気や
 傷の治療の目的以外に使っ
 りすることです。

このような「たった一度の」
 薬物乱用でも脳や体は破壊さ
 れ、薬物を手に入れるために
 窃盗や強盗、殺人などの犯罪
 を起こし、自分や周囲の大切
 な人の人生を破壊してしま
 います。

国及び県では、6月20日か
 ら7月19日までの一か月間
 「ダメ。ゼッタイ。」普及運動
 を展開します。

この機会に薬物乱用の恐ろ
 しさを正しく理解するととも
 に、身近な人の薬物乱用に気
 付いたときには、勇気をもつ
 て保健所へご相談ください。

▼相談先

富士・東部保健所 衛生課
 ☎05555-2419033

緊急通報システム（ふれあいペンダント）の利用について

村では高齢者の皆様に安心して生活を送
 っていただくための事業として、ふれあいペン
 ダントの貸出をしています。これを利用するこ
 とにより、緊急時にボタン操作1つで、支援セ
 ンターへ通報することが可能となります。

設置費用・通話料は無料（利用に伴う電気料
 は除きます。）となっていますので、ぜひこの
 機会にご利用してみたいかがでしょうか。

防災情報アプリ@InfoCanalのスマートフォン導入について

防災情報アプリ「@InfoCanal」は、災害な
 ど緊急事態発生時に村民に対し迅速に情報を
 一斉に配信し、災害時だけでなく平時から活用
 できるよう各種の行政情報を配信しています。

防災放送タブレットと同様の情報を、外出
 時でも受け取れるように、アプリをスマートフ
 ォンへインストールをお願いします。

また、インストール方法が分からない方は、
 役場総務課ま
 でご連絡くだ
 さい。お家に伺
 いまして、説明
 いたします。



iOS 用



Android 用

「丹波山村歯っぴい8020達成者・6024達成者」募集について

村では、「歯っぴい8020達成者・6024達成者」表彰の
 募集をします。

募集期間 5月20日（月）～27日（月）

対象者 *過去に表彰された方は除きます。

▶**8020達成者** 令和6年4月1日現在、80歳以上で20本
 以上ご自分の歯がある丹波山村在住の方

▶**6024達成者** 令和6年4月1日現在、60歳以上で24本
 以上ご自分の歯がある丹波山村在住の方

表彰実施日 令和6年6月上旬

▶問い合わせ先 住民生活課 ☎88-0211

歯と口の健康週間

6月4日～10日は「歯と口の健康週間」です。

歯と口を健康に保つことは、全身の健康を守る上でとて
 も重要なことです。健康な歯でしっかり食べ物をかみ砕き、
 きちんと栄養を取ってこそ、活動的な生活を送ることがで
 きます。

令和6年度の歯と口の健康週間のテーマは、「歯を見せて
 笑える今を 未来にも」です。歯と口は、健康に生き
 ていく力を支えてくれます。若いうちから予防を意識した歯
 のケアを実践していきましょう。

新任紹介

集落支援員



ひろせ こうそう
廣瀬 浩蔵

3月末をもちまして、JAを退職いたしました。在職中は大変お世話になりました。ありがとうございました。

4月1日より丹波山村の集落支援員として勤めさせていただきます。今後は高齢の方々を中心に自宅を訪問させていただきます。日頃困っていることや村に対してのご要望などを聞き、村当局に伝えていく予定です。皆様のご要望が一つでも多く叶えられ、少しでも不安が解消されるよう努めます。どうぞよろしくお願ひします。



にしやま ひさえ
西山 寿恵

3月末で地域おこし協力隊の任期を終え、4月から集落支援員として活動することになりました。引き続き、放課後子ども教室「丹波っこくらぶ」を中心に、保育所、買い物支援などを行います。住民の皆さんと一緒に、地域の課題に

地域おこし協力隊



おおそね ゆうた
大曾根悠太

向き合いながら生活のサポートをしていけたらと思います。お困りごとの相談など、気軽に声を掛けていただけたら嬉しいです。これからも丹波山村での生活を楽しまれたいと思いますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

埼玉県小川町出身。知人の勧めで丹波山村に出逢い、ここに住みたい！と直感的に思いました。「農」と「絵」を暮らしの中心に置いていきます。村の方から畑を借り、まずはサツマイモ栽培をして冬に焼き芋を。徐々にこの地に合った作物の栽培を増やしていきたいです。絵は村で見た情景などを描いています。根っからの感覚派で、向こう見ずな性格です。無意識にご迷惑をかけてしまっていたらご指摘ください。一村人としてよろしくお願ひします！



くらもち まさし
倉持 正志

4月から一般社団法人たばやま観光推進機構に所属

丹波駐在所



すずき あきひろ
鈴木 章広

となりました、倉持です。平将門公の伝承つながりをきっかけに丹波山村を知り、ご縁あつて関東平野の起伏がない平らな茨城県坂東市から丹波山村に参りました。たばやま観光推進機構や、交流促進センターの事業についてこれから頑張っていく予定です。また、いろいろと体験をして村での日常生活を楽しんでいきたいと思っています。よろしくお願ひします。

3月末に県警機動隊から丹波駐在所に着任しました。鈴木章広と申します。丹波山村での勤務は初めてとなりますが、皆様のお力になれるよう頑張りたいと思います。また、前任では山に関わる業務も行っていたので、山岳事故の防止にも尽力したいと思っています。どうぞよろしくお願ひいたします。



丹波山村例規集



条例を見るならこちら！

丹波山村例規集システムでは、丹波山村の条例・規則・規程・要綱などを、フリーワード、例規名、目次検索、五十音検索などから探し、閲覧することができます。

村ホームページ → 「行政ガイド」 → 共通事項の「丹波山村例規集（外部リンク）」

（補足）定期的に例規集の内容更新を行っておりますが、内容が最新でない場合がありますので、ご了承ください。

令和6年度 各地区新役員名簿

（敬称略）

地区名	区 長	区長代理	自主防会長	育成会	スポーツ推進員	隣 保 長
奥 秋	木下 喜人	木下 武久	木下 浩一	嶋崎 竜馬	瀧本 清明／木下 礼子	1 木下 修一 2 岡部 秀樹 3 木下 武久 4 守屋真知子 5 田辺 弘幸 6 木下 和彦 7 嶋崎 竜馬
上 組	守屋 保志	廣瀬 俊之	廣瀬 俊之	石川奈緒美	嶋崎 竜馬／守屋真由美	1 廣瀬 俊之 2 守屋 保志
中 組	守岡 公寿	武井 明信	藤原 貢	守屋 美鈴	守岡 公寿／守岡 美香	1 坂本 求 2 藤原 貢 3 守岡 昌富
下 組	坂本 五一	河村 春樹	河村 春樹		岡部 英利／中村 裕樹	1 船木 利春 2 坂本 五一 3 山本 栄二 4 芦澤 敦生 5 広瀬 直照
高 尾	酒井 新吉	青柳 敏彦	橋詰 修	尾曲 沙織	野中 優花／井上 登太	1 田中 雄二 2 嶋崎まさ江 3 山田 久 4 唐澤 文夫 5 船木三千男 6 岡田 政美
押垣外	守岡 辰之	岡部 政幸	岡部 薫	中平 里美	佐藤 駿一／芦澤小百合	1 船木たかえ 2 榎田 希 3 芦澤 義廣
保之瀬	岡部 晃	船木 良哲	小林 敏男		岡部 晃／船木 隆嘉	1 船木 努 2 小林 弘幸 3 河村 豊作
東 部	酒井 智生	吉野はやと 小林 史明	酒井 智生		吉野はやと／吉野 政江	1 吉野 光江 2 河村 直樹 3 吉野はやと 4 土方富士子 5 河村 義信 6 小林 史明

令和6年度 丹波山村行政組織図 (令和6年4月1日現在)



民生委員・児童委員の活動について

毎年、5月12日は「民生委員・児童委員の日」です。昭和52年に制定され、5月12日～18日が、「活動強化週間」になっています。5月の「心配ごと相談」は、「活動強化週間」に合わせて開催されました。

村内の民生委員は、6人で、各自担当地区を持ち、住民の立場に立ち、相談内容に応じて必要な援助を行っています。昨年、クリスマスに各地区80歳以上の方を訪問させていただきました。今後も継続的にクリスマス訪問をさせていただきます。

また、民生委員は児童委員も兼ねています。主任児童委員は、1人おり、地域の子どもたちが元気で安心して暮らせるように、見守りや子育ての不安、妊娠中の心配ごと相談、支援を行っています。何かありましたら民生委員、主任児童委員にお気軽にご相談ください。

令和6年度心配ごと相談日程

実施(予定)日	実施場所
6月18日	丹波小体育館下和室
7月11日	
8月8日	高齢者生活福祉センター
9月12日	
10月10日	
11月14日	
12月17日	丹波小体育館下和室
令和7年	
1月9日	
2月13日	高齢者生活福祉センター
3月13日	

▼時間 13時30分～15時30分

★ご長寿おめでとうございます★

100歳・90歳お祝い

酒井きぬ子さん（小袖）が3月31日に100歳の誕生日を迎えられ、国、県、村から記念品等が贈られました。丹波山村で2人目の100歳のご長寿です。
 また、船木三千男さん（高尾）が4月28日に90歳のお誕生日を迎えられ、村からお祝いとともに、記念品等を贈呈しました。



これからも健康にご留意され、いつまでも、元気でいてください。

消防感謝状 贈呈式

1月14日に発生した火災において、人命救助に協力いただいた3人の方への感謝状贈呈式が、4月5日丹波山村役場にて行われました。

大月市消防本部より、3人の勇気ある行動に対し、感謝状が手渡されました。

被表彰者

三井 修 様
 酒井 智子 様
 樋口 雅紀 様



消防団任命式

4月5日、丹波山村役場にて、令和6年度丹波山村消防団任命式が挙行されました。

退団者は2人。橋詰前団長から守屋新団長に櫛が渡され、新体制で気持ちも新たに作り組んでいきますので、消防団活動にご理解ご協力をお願いいたします。
 （順不同、敬称略）

【退団者】

橋詰 昭人（団長）
 岡部 賢次（第2部団員）

【新幹部】

団長 守屋 保志
 副団長 橋詰 修



▶ 守屋保志新団長が任命されました



▶ 橋詰団長、長年お疲れ様でした